

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 西濃高等特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月16日(金) 10:00～12:00
- 3 開催場所 西濃高等特別支援学校 実習棟3 会議室 (参集による開催)
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	大橋 奈麻輝	大垣市社会福祉協議会 事務局長
副 会 長	加藤 千恵美	大垣市くすのき苑 所長
委 員	粥川 加奈子	大垣市議会議員
	虫賀 恭子	大垣商工会議所 女性会 会長
	上田 哲弘	日新連合自治会長
	柳瀬 芳仁	大垣青年会議所 理事長(欠席)
	大原 里美	西濃障がい者就業・生活支援センター 所長
	森 裕子	本校 PTA会長
学 校 側	高木 靖	校長
	井川 匡	教頭
	井上 裕詞	事務長
	馬淵 陽子	部主事
	宮脇 智之	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 教育目標と学校運営について
 - (2) 学校の概要について
 - (3) 学校評価アンケート(生徒用・保護者用)について
 - (4) 専門コース生産品価格について(新規提案分)

キャビネット(チェストボックス)	17,000円
引き出し付きローテーブル	18,000円
シューズラック	20,000円
引き出し付きテーブル	15,000円
ハンガーフック	25,000円
テレビ台カスタード	25,000円

上記、いずれも適正な価格であると承認が得られた
 - (6) その他
 - ・校内組織(校務分掌)について
 - ・教育課程及び日課について
 - ・令和7年度年間行事計画について

(7) 学校参観と意見交流

- 意見1：安全教育を重要視してほしい。個々の目標を設定し、3年間で学んだことを、社会に入ったら、すぐ実践できるとよい。ケガや事故に対する安全教育を学校で行ったうえで社会に出れば、会社としてもありがたい。
- 意見2：障がい者に対する詐欺への対策や命を守る危機管理なども学校で教えてほしい。立ち直る精神を身に付けてほしい。少人数で、教員の目が細かいところまで行き届いている。外部へもっとアピールしてほしい。
- 意見3：AIなどの新技術が進歩しても、やはり世の中は“人と人”が基本である。コミュニケーションを大切にしてほしい。
- 意見4：教職員が、生徒の将来を見据えた支援を行っていることが、よく分かった。障がい者を一人のあたりまえの人として支えていけるような地域社会にしたい。
- 意見5：学校の方針や地域の支援がよく分かった。
- 意見6：教職員と生徒の距離感が近く、非常に良い。在学中の授業や学校生活でSOSの出し方を身に付けさせると社会でも使えるのでよい。
- 意見7：卒業生も会社の中でまじめにしっかりと業務をこなしている。生徒個々の特性が引き出せる学校にしてほしい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、会長及び副会長が選出され、今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針、専門コースの生産物の価格について、参加した全委員より承認が得られた。

様々な立場の有識者から貴重な意見交流を行うことができた。また、生徒の学習する姿を参観する機会を得られたことで、本校での取組に対する具体的な評価を得られた。

委員の意見を踏まえ、生徒の特性を引き出しながら、コミュニケーションの力を高めていくとともに、様々な学習活動を通して、危機管理や安全教育を行い、社会で実践できる力の習得を図っていく。また、地域への情報発信や連携を図り、各種機関の協力を得ながら、学習活動を展開していくために、引き続き各委員の協力をいただくことを求め散会した。